事業番号	07 06 09	事業改善シート(25年度実施事業分) □₹	算要求	口当初予算案	☑ □補正予算案 ■点検	
事業名	ジョブカフェ信州運営事業		担	部局	産業労働部	
	グコノガノエ旧州民呂尹未			課·室	労働雇用課	
総合5か年 計画	プロジェクト 5-2-3 雇用・社会参加促進、7-1-3 活動人口増加		一 当 課	E-mail	rodokoyo@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	1-6 職業能力の開発と安心できる雇用・就業環境づくり				
		2雇用の促進 3働きやすい職場づくりの推進		実施期間	H16 ~	

1 事業の概要

現状 県内では事業所の閉鎖に伴う人員整理等が相次ぎ、若年者を取り巻く雇用環境については、依然として厳しい状況が続いており、若年者の有業率も低下傾向にある。

県が関与 する理由

事業内容

県でなければ実施不可(その他)

【左記の説明、根拠法令等】

若者のためのワンストップサービスセンター事業実施要領(厚生労働省職業安定局長通知)

県民との協働による実施:検討中

① 成果目標(H25)

就職率(就職者数/新規登録者数)50.0%を目標とする。

※H16.5月(ジョブカフェ信州開所)からH24.9月までの平均34.1%

委託

直接

② 事業内容

中小企業就職支援事業

離職状況調査

H25 H26 項目 実施方法 H25事業実績 (当初) (決算) (当初) 相談業務(キャリア・コンサル 若年者就業支援アドバイザーによる進路決定や適職就労に 直接 20,241 21,055 18,555 結びつく就職活動の支援を実施した。(利用者2,195人) ティング、ミニジョブカフェ) 若者就労実体験チャレンジ事 就業支援を行うNPO法人、団体や企業等と協働で就業体験 直接 3,243 3,978 3,569 を実施した。(延べ日数299日) 業(ジョブチャレ) キャリアアップ事業(セミナー・ 職業意識の高揚、自己の能力開発、効果的な求職活動の習 直接 3,515 3,072 3,524 出前講座) 得等を目的としたセミナーを開催する。(参加者数12,457人) PR事業(広報ポスター、Web 直接 駅やコンビニ、官公庁等にポスターを掲示した。 2,200 1,952 2,032 システム) 運営経費(賃借料、管理経 建物賃借料、電気料、電話料 直接 22,064 22,071 22,632 費)

中小企業と求職者間の雇用のミスマッチを解消するため、企

業と学生間のインターンシップ仲介、U・Iターン希望者に向け

た企業情報の収集等を行った。(委託先:マンパワーケループ(株)
県内の事業所に新規採用された若者の離職状況を把握し、

離職防止の参考にするとともに、労働行政の基礎資料として

活用することを目的した調査を実施した

	×	:	分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	_		前年度繰越				
	予		当初予算	60,461	58,178	63,463	52,812
事	算額		補正予算		7,127		
業	LIX -	合計(A)		60,461	65,305	63,463	52,812
*			国庫支出金				
⊐	Aの		県 債				
_	財源	Į.	その他(繰入金)	8,643	15,481	12,292	95
ス	^		一般財源	51,818	49,824	51,171	52,717
۲	決	算 額(B)		56,828	61,624	61,761	
	概算		職員数(人)	5.40	5.40	5.40	5.40
	人件費		概算人件費(C)	44,593	44,593	44,593	44,593
	概算	事:	業費(B(A)+C)	101,421	106,217	106,354	97,405

成果目標の達成状況						
項目	H24末 (実績)		H26			
供日		目標	成果	達成状況	目標	
就職率	58.0%	50.0%	53. 6%	達成	50.0%	
ミニジョブカフェの開 催	45回	100回	61回	未達成	100回	
ジョブチャレ体験の 延べ日数	246 日	450日	299日	未達成	460 日	
家族向けのセミナー (新規)の開催		40家族	40家族	達成		
児童養護施設での 退所前就職支援	_	15施設	15施設	達成	_	

合計

10,955

1,245

63,463

10,955

1,178

61,761

52,812

(単位:千円)

目標に対 する成果 の状況

丁寧なキャリアコンサルティングやセミナーの開催等により、就職率は目標とする50.0%を上回る、53.6%となった。 ミニジョブカフェの開催回数やジョブチャレ体験の延べ日数は、目標達成には至らなかったものの、前年度実績を上回る成果を上げている。

2 今後の事業の方向性

今後、事業 をどのよう にしていき たいか □ 事業を実施しない □ 事業を見直して実施 ■ 事業を現行どおり実施

・引き続き、市町村と連携し、ジョブカフェのサービスを必要とする若者の掘り起こしを図り若者の職業的自立の機会の拡大に取り組むとともに、ジョブカフェを利用して就職した者に対して定期的に個別相談を実施する等、定着支援・離職防止に力を入れていく。